

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門 拠点-07 推進事業(大船駅東口市街地再開発事業)						
主管課	再開発課	関連課	部内各課				
分野名	市街地整備						
目標 (目標値)	再開発事業の完了						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	32,462	46,064	60,524			
	(国・県)		14,800	5,200			
	(負担金等)						
	(一般財源)	32,462	31,264	55,324			
	人員配置数	6.7人	6.0人	6.0人			
	人件費(千円)	50,766	47,436	51,376			
事務事業 運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	83,228	93,500	111,900			
	市民1人当りの経費(円)	468	528	631			
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
再開発事業の進捗状況	○	目標値	30%	35%	40%	60%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	30.0%	35.0%	37.5%	50.0%	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
推進事業	32,180	大船駅東口再開発 推進事業	174,198	今後の 方向性	A	理由 ・手法 都市計画変更の手続きを進めるとともに各種調査 等業務を委託し、権利者の合意形成を図りながら 事業認可に向けての準備を進めていく。
推進事業	282			今後の 方向性		理由 ・手法
				今後の 方向性		理由 ・手法
				今後の 方向性		理由 ・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	権利者の合意形成及び事業への理解促進。 都市計画変更の手続き 市の整備方針の決定									
課題解決のための取組	事業化原案を作成し、検討会等において権利者に説明を行い、事業への理解促進を図った。 権利者意向確認を行い、市の整備方針を決定した。 権利者及び市民を対象に都市計画に関する説明会を開催し、都市計画変更素案を作成した。				取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	権利者の一部には、事業に対する根強い反対がある。									
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	平成26年度の都市計画変更決定を目指す。 引き続き反対権利者に対し、事業に対する理解促進を図る。 事業の進捗に伴い、各種調査等業務を委託し、事業認可に向けての準備を進める。						A	※□事業完了		

評価者名

再開発課担当課長

吉田 浩

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
推進事業 (494)	事業化を推進するために、事業協力者の協力を得て事業化原案を策定し権利者の合意形成に努めた。また、権利者に意向確認を行い、その結果を基に市の整備方針を決定した。都市計画手続きについては、権利者及び市民説明会を開催し、都市計画変更素案を作成した。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		494	市街地整備アドバイザー報酬	306	102	○	○	○	○
494	大船駅東口市街地再開発事業推進業務委託料	33,968	29,421	○	○	○	○		
494	大船駅東口市街地再開発事業事業協力業務委託料	3,150	2,657	○	○	○	○		
※□ 事業完了									
推進事業 (535)	必要な維持修繕を行った。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		535	代替住宅給湯器修繕料	291	282	○	○	○	○
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要								
	主な個別事業	ザイムコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									